

メイトウホスピタル

パーキンソン病入院リハビリテーション

2021年7月からメイトウホスピタルでの愛知医科大学齋木英資先生によるパーキンソン病診療の開始に伴い、2022年1月よりパーキンソン病に対する入院リハビリテーションを開始致しました。

入院リハビリテーション開始についての大まかな流れは、
下記のとおりです。



〈入院リハビリテーション開始までの流れ〉

診察

- 当院のパーキンソン病外来を受診
- 主治医より入院リハビリテーションの適応判断

調整

- 入院予定日の調整（病室の空き状況により期間を要する場合あり）
- 入院予定1週前に入院前検査（血液、X線撮影、心電図）

入院

- 初日：多職種による状態確認、担当療法士による各種検査
- 翌日以降：LSVTプログラム開始（運動指導含む）

LSVT（Lee Silverman Voice Treatment）とは…

近年、米国を中心にパーキンソン病の方に用いられている運動プログラムで、運動訓練を行う「LSVT BIG」、言語訓練を行う「LSVT LOUD」があります。60分/日、4日連続/週、4週間の計16セッションを、当院のLSVT Global公認スタッフの指導の下で行って頂きます。

訓練内容は、担当療法士との共通訓練、個別訓練に加え、自主訓練を行って頂きます。詳しくは当院ホームページをご参照ください。

膝や腰の痛み、心臓や肺など身体に不安を抱えている方は注意して行っていきますが、状態によっては運動内容を完遂できない場合もございます。予めご了承下さい。



訓練内容でご質問などがございましたら、下記までお問い合わせ下さい。

リハビリテーション科パーキンソン病担当者 TEL 052-701-7000（代表）

病院 HP：<https://meitoh-hsp.or.jp/>（右記QRコードも利用可能）

